

■交読 詩篇146篇1～10節

- 1 ハレルヤ。
わがたましいよ 主をほめたたえよ。
- 2 私は生きているかぎり 主をほめたたえる。
いのちのあるかぎり 私の神にほめ歌を歌う。
- 3 あなたがたは君主を頼みとしてはならない。
救いのない人間の子を。
- 4 霊が出て行くと 人は自分の土に帰り
その日のうちに 彼の計画は滅び失せる。
- 5 幸いなことよ ヤコブの神を助けとし
その神 主に望みを置く人。
- 6 主は 天と地と海
またそれらの中のすべてのものを造られた方。
とこしえまでも真実を守り
- 7 虐げられている者のためにさばきを行い
飢えている者にパンを与える方。
主は捕らわれ人を解放される。

- 8 主は目の見えない者たちの目を開け
主はかがんでいる者たちを起こされる。
主は正しい者たちを愛し
- 9 主は寄留者を守り
みなしごとやもめを支えられる。
しかし悪しき者の道は 主が曲げられる。
- 10 主は とこしえに続べ治められる。
シオンよ あなたの神は 代々に続べ治められる。
ハレルヤ。

■使徒信条 われは天地のつくりぬし、全能の父なる神を信ず。われはそのひとりご、われらの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤよりうまれ、ポンテオ・ピラトのもとにくるしみをうけ、十字架につけられ、死にてほうむられ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。かしこよりきたりて 生けるものと死にたるものとを さばきたまわん。われは聖霊を信ず。聖なる共同の教会、聖徒のまじわり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえのいのちを信ず。アーメン

■聖書朗読 マタイの福音書 28章 16～20節

- 16 さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示された山に登った。
- 17 そしてイエスに会って礼拝した。ただし、疑う者たちもいた。
- 18 イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。
- 19 ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、
- 20 わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

■聖歌 547 「かたりつけばや」(1～3節)

- ①語り告げばや 主なるイエスと その みさかえと その恵みを
わが たましいを 満たすものは 他に 無きことを さとり えたり

※語り告げばや 世を去る日まで 語り告げばや イエスの愛を

- ②語り告げばや 語るごとに こころ満ちたり 楽しさ増す
この 救い主 知らぬ者に われ呼びかけて あかし せばや

- ③語り告げばや 見よ ちまたは 飢えかわきたる 人にみてり
こは げにふるき 教えなれど 日々新しき 歌とぞなる

■頌栄 聖歌 376 「父 御子 御霊の」

父・御子・みたまの おおみかみに とこしえかわらず
御栄えあれ 御栄えあれ アーメン

【自宅での礼拝の手引き】

- ・招詞 招詞を読みます
- ・賛美 歌います
- ・主の祈り 主の祈りを祈ります
- ・交読 交読箇所を読みます
- ・礼拝祈祷 次の言葉を祈りましょう
「天の父なる神様。今、あなたの御前で礼拝をささげられることを感謝します。兄弟姉妹と場所は異なりますが、心を一つにして礼拝をささげます。主の臨在を、今、ここに現してください。私たちの救い主、イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン」
- ・使徒信条 使徒信条を告白します
- ・聖書朗読 聖書朗読箇所を読みます
- ・説教 聖書朗読箇所を思い巡らしましょう
- ・賛美 歌います
- ・献金 主から受けたものの中で私がささげられるものや分かち合えるものは何か思い巡らしましょう。それをささげながら歩めるように主の助けを祈りましょう。
- ・頌栄 頌栄をささげます
- ・祝祷 心の中で祝祷を読み、最後に「アーメン」と告白しましょう
「願わくば 主イエス・キリストの恵み 父なる神の愛 聖霊の親しい交わりが教会員一同の上にとこしえにありますように アーメン」